春日市 文化財ガイドマップ

POINT PICKUP

さがしてみよう　あるいてみよう

文化財

春日市マスコットキャラクター　かすがくん　あすかちゃん

春日市
文化財
ガイドマップ

さがしてみよう あるいてみよう 文化財

本文中の「交通手段」は目安ですので、各交通機関の事情により変更される場合があります。また、表示時間には待ち時間や乗換時間は含まれていません。

春日市を探険しよう！！ …… 1
春日市全体マップ …… 2

奴国の王都ふれあいゾーン

春日市奴国の丘歴史資料館 …… 4
春日市奴国の丘歴史公園 …… 6
須玖岡本遺跡 …… 7
奴国の生産工房群 …… 8
熊野神社とオオバヤドリギ …… 11
嫁ごの尻たたき …… 11

古墳とナギのふれあいゾーン

赤井手古墳 …… 12
竹ヶ本古墳 …… 12
下白水大塚古墳 …… 12
日拝塚古墳 …… 14
ナギの杜 …… 15
白水の井 …… 15

水城と緑のふれあいゾーン

水城跡 …… 16
ウトグチ瓦窯跡（のぼり窯体験広場） …… 17
白水大池公園 …… 17
春日神社と春日の杜 …… 19
春日の婿押し …… 19
センリョウ叢林 …… 19

指定文化財一覧 …… 20

探険

春日市を探険しよう!!

弥生時代の遺跡の宝庫として知られ、
別名「弥生銀座」とも呼ばれている春日市。
歴史と文化を訪ねてタイムトリップ。

春日市は、アジアに開かれた福岡都市圏の中央部に位置し、東西4km、南北5.34km、面積は14.15㎢という県下で最も狭い市域で、人口は11万人を超え、県内有数の都市として発展しています。コンパクトで住環境にすぐれた本市は、古くから大陸との交流の玄関口として栄え、特に福岡平野の中でも南部にあたる春日丘陵周辺には弥生時代の貴重な遺跡が密集し、中国の史書である「後漢書」や「魏志」倭人伝に記された「奴国」の中心地であったとされています。

その後、古墳時代になると那珂川流域には次々に前方後円墳が作られました。日拝塚古墳や下白水大塚古墳などはその代表的な例で、福岡平野を治めていた首長の墓と推定されます。

7世紀後半（飛鳥時代）には防衛施設として大土居や天神山に水城が築かれます。九州最古級の瓦窯跡であるウトグチ瓦窯跡が操業されていたのもこの頃です。

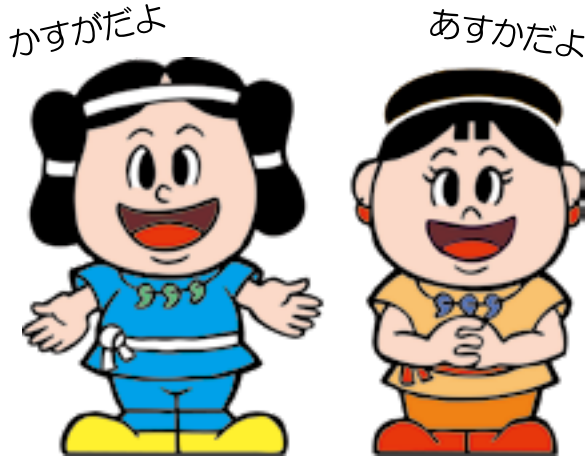
鎌倉時代には荘園として白水荘、小倉荘などがあったことがわかっています。さらに16世紀の戦国時代には、下白水に「天浦城」という城があったといわれています。

江戸時代になると春日は福岡藩の領地になりました。この時代には灌漑用の溜池や用水路が多く造られました。武末新兵衛による白水池の堤防改修や、白水喜四郎による小倉用水工事はその代表例です。

その後、明治22年に春日、上白水、下白水、小倉、須玖の5村が合併して那珂郡春日村となり、現在の春日市の前身ができました。

この本は、春日市の歴史と文化をたどるガイドブックとしてつくりました。本誌で紹介している文化財は、市内の文化財のごく一部に過ぎませんが、多くの方々にご活用いただければ幸いです。

さあ、外に出て春日市の歴史や文化を思う存分楽しんでください。



春日市マスコットキャラクター　かすがくん　あすかちゃん

春日市全体マップ

N
W
E
S
春日北中
西鉄雑餉隈駅
日の出小
P15- 住吉神社
(ナギの杜)
須玖五反田遺跡 -P9
須玖永田A遺跡-P9
春日北小
老松神社(中の宮)
須玖岡本遺跡坂本地区-P9
JR南福岡駅
須玖
岡本
陸上自衛隊
福岡駐屯地
A 奴国の王都
ふれあいゾーン
B 古墳とナギの
ふれあいゾーン
JR新幹線博多南線
P9-
須玖タカウタ遺跡
須玖岡本遺跡 -P7
熊野神社-P11
老松神社
(上の宮)
P7-王墓の上石
奴国の丘歴史資料館 -P6
奴国の丘歴史公園 -P4
西鉄春日原駅
須玖小
赤井手遺跡・古墳 -P12
春日中
竹ヶ本古墳 -P12
宝町
JR春日駅
春日警察署
春日原小
春日市役所
B
A
住吉神社 -P11
いきいきプラザ
えんじゅ
航空自衛隊
春日基地
光町
P12-
下白水大塚古墳
春日小
昇町
春日東中
春日東小
春日公園
西鉄白木原駅
P15-
白水の井
下白水
大谷小
ふれあい文化センター
総合スポーツセンター
春日公園入口
春日野小
JR大野城駅
春日一丁目
日拝塚古墳 -P14
春日西小
春日野中

モデルコース　時間は目安です。

A　須玖岡本遺跡巡りコース p10　所要時間：約１時間

奴国の丘歴史資料館 →(1分)→ 奴国の丘歴史公園（ドーム） →(5分)→ 熊野神社 →(5分)→ 王墓地点、王族墓 →(5分)→ 須玖岡本遺跡坂本地区

B　古墳巡りコース p13　所要時間：約１時間半

奴国の丘歴史資料館 →(10分)→ 赤井手古墳 →(5分)→ 竹ヶ本古墳 →(15分)→ 下白水大塚古墳 →(15分)→ 日拝塚古墳

C　古代技術の発見と緑豊かな自然巡りコース p18　所要時間：約１時間半

春日神社 →(10分)→ 白水大池公園 →(10分)→ ウトグチ瓦窯跡 →(5分)→ 天神山水城 →(5分)→ 大土居水城

『後漢書』や『魏志』倭人伝に登場する「奴国」
その壮大なロマンを訪ねる

奴国の王都ふれあいゾーン

見学のご案内
・開館／ 9:00－17:00
（入館は16:30まで）
・休館日／第3火曜日
（祝日の場合は翌日）
12月28日～ 1月4日
・入館料／無料
・駐車場／ 22台（無料）

交通手段
春日市コミュニティバス
①桜ヶ丘線「奴国の丘歴史資料館前」下車すぐ
②須玖線「岡本1丁目」下車　徒歩6分
JR 南福岡駅⇒タクシー 9分（徒歩18分）
西鉄バス
45-1系統「岡本」下車 徒歩4分

問い合わせ先
春日市奴国の丘歴史資料館
TEL.092－501－1144
FAX.092－573－1077
メールアドレス
nakoku@city.kasuga.fukuoka.jp
ホームページ
https://www.city.kasuga.fukuoka.jp/miryoku/history/historymuseum/index.html

所在地
岡本3－57

■奴国の丘歴史資料館ＱＲコード

奴国時代の出土品を展示
春日市 奴国の丘歴史資料館
なこくのおかれきししりょうかん

春日市は弥生時代に文化の先進地として栄え、数多くの遺跡が存在します。中国の歴史書である『後漢書』や『魏志』倭人伝に登場する「奴国」の位置については、福岡市や春日市およびその周辺を含む福岡平野一帯をあてるのが定説となっており、その中心地（王都）が春日市の岡本周辺に分布する須玖遺跡群と推定されます。

当資料館には、市内の発掘調査で出土した奴国の時代の貴重な遺物を見ることができる考古資料展示室があります。奴国王墓の出土品や青銅器、多数の青銅器・ガラス勾玉の鋳型など、奴国の特徴的な遺物が展示されています。

また、民俗資料展示室には、昭和初期頃の農家の生活をテーマとした各種の農具や生活用具などが展示されています。

▲奴国の時代の出土品を展示した考古資料展示室

▲昭和初期頃の農家の生活をテーマとした民俗資料展示室

このほか、企画展などを行うための特別展示室、講演会や説明会に利用される研修室、勾玉づくりなどの体験学習ができる体験コーナーなども設けられています。

▲勾玉づくり体験（1個100円）

展示ホール

展示ホールでは、いっきに時間がさかのぼり、弥生時代にタイムトリップします。奴国の先進性を物語る2つのジオラマを展示しています。

青銅器生産工房　弥生時代の青銅器製作跡として全国で初めて本格的な発掘調査がされた須玖永田A遺跡の成果を参考にして、考古学・建築学・金属学などの視点から考案し実物大で忠実に復元したものです。

掘立柱建物の屋根の下、高温の炉の中で青銅の材料を溶かし、正確に彫りこんだ石製の鋳型に流し込んでいる作業を再現しています。

銅矛鋳型
（熊野神社所蔵）
江戸時代に出土した鋳型で、国の重要文化財に指定されています。

▲弥生時代の青銅器鋳造の風景を再現したジオラマ

須玖遺跡群出土のるつぼ
青銅器の原料を入れる耐火性の高い土器。高温の炉の中から取り出し、鋳型に流し込みます。

奴国王墓　1899（明治32）年、須玖岡本遺跡の一角で発見された甕棺墓に埋葬されていた様子を、断面を切って真横から見ることができるように再現したものです。多くの副葬品をたずさえた奴国の王の埋葬の姿が浮かび上がります。模型の上部には、王墓の上石も復元されています。

このほか展示ホールでは、王墓の隣接地で発掘調査された王族墓と推定される墳丘墓の断面をはぎ取った土層を展示しています。

▲王墓に隣接する王族墓の調査ではぎ取った墳丘墓の盛土の土層

▲まるで実物を見ているような須玖岡本遺跡王墓ジオラマ

王墓出土の鏡（復元品）
須玖岡本遺跡の王墓から出土した前漢鏡の中には、中国でも出土例の少ない直径20cm以上の大型鏡が含まれています。

文化の薫りただよう学習といこいの場

春日市 奴国の丘歴史公園

なこくのおかれきしこうえん

ドーム見学のご案内

・開館時間／9:00－17:00
（入館は16:30まで）
・休館日／第3火曜日
（祝日の場合は翌日）
12月28日～1月4日
・入館無料

須玖岡本遺跡の一部は、奴国の丘歴史公園内にあり、ここでは1979・1980（昭和54・55）年の発掘調査で多数の甕棺墓と住居跡が発見されました。弥生時代中期の集落と墓地が対になって見つかったのです。また、完全な形の小銅鐸鋳型（しょうどうたく）や鉄剣（てっけん）が出土しています。奴国の中心域とされるところに位置していることや、同じ時期の集落と墓地が存在すること、貴重な遺物が発見されたことにより、1986（昭和61）年6月に国指定史跡となりました。

現在、公園内には2カ所にドームが設置され、発掘調査時の状態で甕棺墓などが見学できるように整備されています。

また、奴国の丘歴史公園の南西約200mの場所にも須玖岡本遺跡（平若（へいじゃく）B遺跡）として保存されています。ここは以前から甕棺墓群の存在が確認されていたため、同時に国指定史跡となりました。

小銅鐸鋳型

鉄剣

▲ドーム内部

奴国王と王族の墓地

国指定史跡 須玖岡本遺跡

すぐおかもといせき

弥生時代の代表的な遺跡である須玖岡本遺跡は、全国的にその名が知られ、県外からも多くの人が訪れています。奴国の王都であったと推定される須玖遺跡群の中核的な遺跡で、現在、国指定史跡の範囲が拡大しつつあります。1899（明治32）年に地元の人が家を建てる時、偶然に発見された甕棺の内外から、30面前後の中国鏡やガラス璧をはじめ、銅剣、銅矛、銅戈といった青銅製の武器、ガラス勾玉や管玉など多数の貴重な品々が出土しました。また、この甕棺墓の上には長さ3.3m、幅1.8m、重さ4t の巨大な上石が置かれていました。

▲奴国の丘歴史公園に移設された王墓の上石

▲甕棺墓群

▲甕棺墓から出土した銅剣

この甕棺墓は、ほかの墓から離れてつくられ、ことのほか手厚く埋葬されていることから、奴国王の墓と考えられています。年代的には、後漢の光武帝から金印を賜った王より数世代前の王の墓と推定されます。また、須玖岡本遺跡では、王墓のほか王族の墓とみられる甕棺墓群が確認されています。王墓のように多数の出土品はありませんが、副葬品をもった甕棺がいくつも発見されています。1990（平成2）年に実施した発掘調査では、墳丘墓が確認され、内部から多数の甕棺が発見されました。その際、2基の甕棺に鉄剣および鉄矛が副葬されていました。

ガラス勾玉とガラス小玉

須玖岡本遺跡岡本地区の甕棺墓の副葬品です。ガラスの勾玉と824個以上の小玉が一緒にみつかりました。勾玉の長さは4.8cmで弥生時代最大級です。

市指定文化財

銅剣と青銅製把頭飾

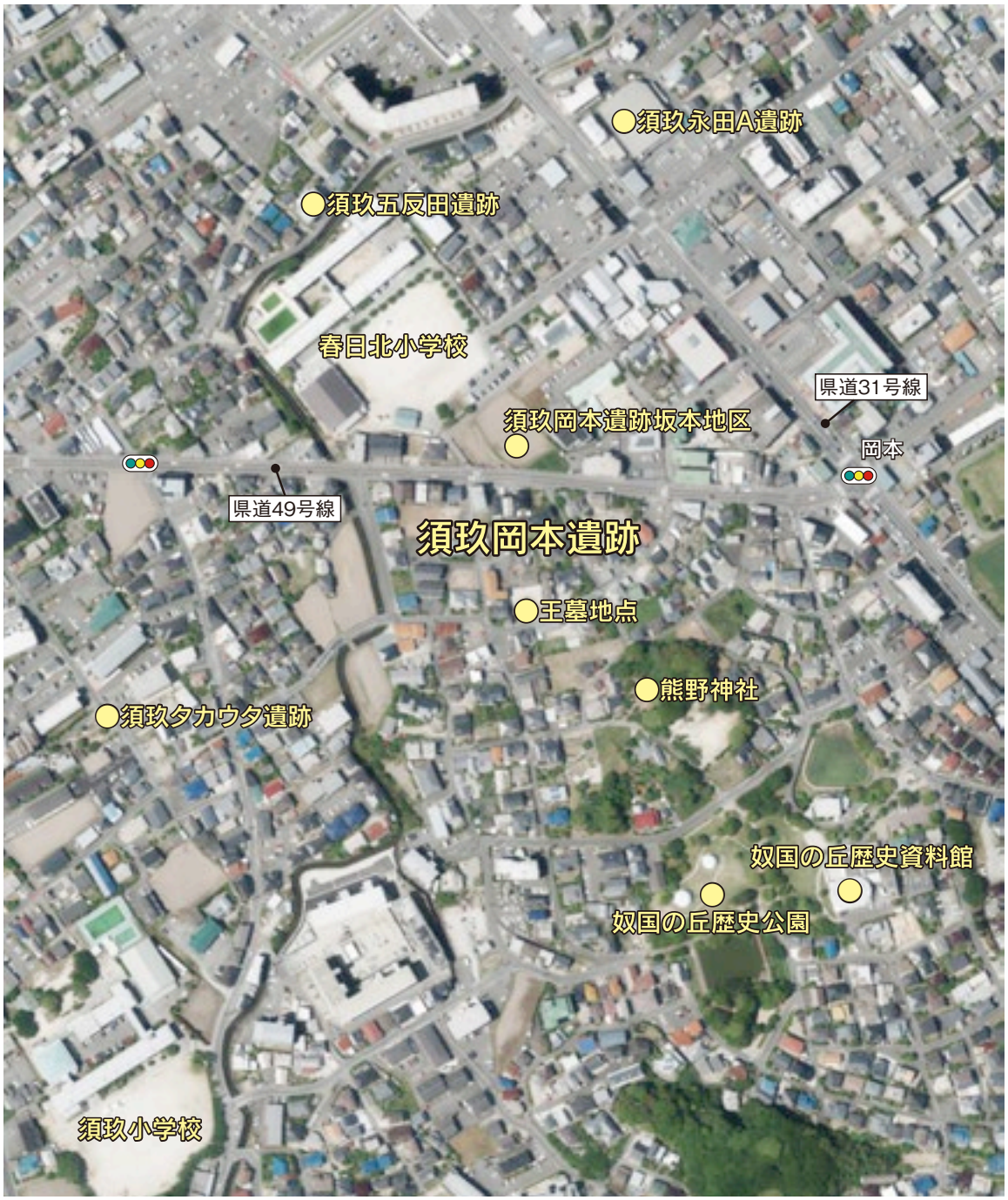
平成28年に弥生時代中期の甕棺から見つかった銅剣と銅剣の柄に付ける飾りの青銅製把頭飾です。
青銅でできた把頭飾が奴国の地域内で見つかったのは初めてです。

わが国最大規模を誇る

奴国の生産工房群

なこくのせいさんこうぼうぐん

須玖岡本遺跡とその周辺からは、青銅器やガラス製品、鉄器を製作した弥生時代の工房跡が発見されています。当時、青銅器・ガラス製品・鉄器は貴重品で、これらの品々を生産するためには、高度な技術はもちろんのこと、原料を入手するためには対外交渉力も必要でした。須玖岡本遺跡とその周辺は、弥生時代のハイテク工房が全国で最も集中する地域として知られ、ここに強大な勢力をもった集団がいたことがわかります。



青銅器をつくり始めたころの鋳型発見

須玖タカウタ遺跡

すぐたかうたいせき

日本初となる多鈕鏡の鋳型や一対の銅戈の土製鋳型など、石製と土製の青銅器鋳型が複数出土しました。

これらは、国内での青銅器生産を示す最も古い時期のものです。

▶鋳型を基に鋳造再現実験を行いました。
https://youtu.be/9oh-HGnwfEo

▲須玖タカウタ遺跡土製鋳型出土状況

市指定文化財

須玖タカウタ遺跡出土の多鈕鏡鋳型

全国初の発見！弥生時代の青銅器工房跡

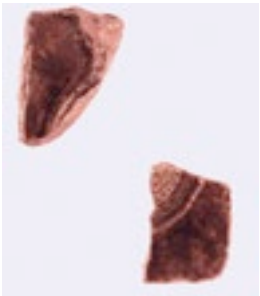
須玖永田Ａ遺跡

すぐえいだえーいせき

鏡の鋳型をはじめ、銅を溶かしたるつぼなど、青銅器生産に使われた多数の遺物が出土しました。青銅器を鋳造した工房跡（掘立柱建物跡）も発見されています。全国で初めて弥生時代の青銅器工房跡が確認された遺跡です。

▲須玖永田Ａ遺跡

須玖永田Ａ遺跡出土の鏡鋳型



国内最大級の青銅器工房

須玖岡本遺跡 坂本地区

すぐおかもといせき さかもとちく

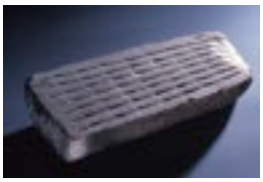
鏡や銅矛などの鋳型やるつぼ、銅滓（銅のかす）など、青銅器生産を示す多数の遺物が出土しました。青銅器を鋳造した工房跡がいくつも発見されています。

▲須玖岡本遺跡坂本地区

市指定文化財

須玖岡本遺跡坂本地区出土の連鋳式銅鏃鋳型

この鋳型で49個の銅の矢じりを一度につくることができます。



全国初の発見！弥生時代のガラス工房跡

須玖五反田遺跡

すぐごたんだいせき

ガラス勾玉の鋳型やガラスが付着した容器、玉を磨いた砥石など、ガラス製品の製作に使われた多数の遺物が出土しています。全国で初めて弥生時代のガラス工房跡が確認された遺跡です。

▲須玖五反田遺跡

ガラス勾玉の鋳型

須玖五反田遺跡の勾玉鋳型は土製で、型が3個以上確認できます。

須玖北公園
日の出ふれあい公園
日の出小学校
JR南福岡駅
須玖永田A遺跡
須玖五反田遺跡
春日北小学校
須玖
県道49号線
岡本1丁目
須玖岡本遺跡
岡本
須玖岡本遺跡（王墓地点、王族墓）
熊野神社
須玖タカウタ遺跡
岡本公園
陸上自衛隊
春日市奴国の丘歴史公園
春日市奴国の丘歴史資料館
上新田池
岡本ノ辻遺跡
県道31号線
須玖小学校
須玖岡本遺跡（平若B地点）
弥生公園
須玖南観水公園前
春井手古墳
福岡女学院
春日中学校
竹ケ本古墳
井ノ尻公園
宝町
竹の本団地前
県道505号線
小倉1丁目
小倉2丁目
自衛隊福岡病院
豆塚山遺跡
住吉神社前
小倉住吉神社
藤波池公園
県道56号線
春日小学校
大南児童遊園
宮の下遺跡
昇町
大南遺跡
バスセンター
ふれあい文化センター
大谷小学校
総合スポーツセンター
大谷遺跡

岡本山の上に鎮座する岡本の産土神（うぶすながみ）

熊野神社と市指定天然記念物オオバヤドリギ

くまのじんじゃとおおばやどりぎ

▲イザナギの尊（みこと）、イザナミの尊（みこと）を祭神とする熊野神社

熊野神社の創立は『熊野神社由来記』によれば、室町時代にさかのぼると伝えられています。神宝として『銅矛鋳型』があり、1955（昭和30）年に重要文化財として国の指定を受けています。また、境内の樹木アラカシのこずえにはオオバヤドリギが着生しており、市の天然記念物に指定されています。

土製狛犬

江戸時代に熊野神社へ奉納された素焼きの狛犬です。狛犬の大きさは21cm で、1688年に吉村清五郎が奉納したと記録に残っています。土製の狛犬は珍しく、春日市では市指定有形民俗文化財に指定されています。

交通手段

JR 南福岡駅⇒
タクシー 8分（徒歩16分）
春日市コミュニティバス
①桜ヶ丘線「奴国の丘歴史資料館前」下車 徒歩3分
②須玖線「岡本1丁目」下車 徒歩2分

所在地

岡本2－92

オオバヤドリギ

「大葉宿木」と書き、9~10月に筒形の花が咲き、赤褐色の毛が密生した実をつけます。

無病息災子孫繁栄を願う

嫁ごの尻たたき

よめごのしりたたき

▲参拝に訪れるお嫁さんを祝福する子どもたち

小倉の住吉（すみよし）神社の年中行事で、小正月である1月14日に行われるお祭りです。前年に結婚した花嫁が正装し参拝するところを、地域の子どもたちが藁（わら）で編んだ尻たたき棒で嫁の尻をたたきます。嫁が家に居つくよう、子宝に恵まれるようにとの願いが込められています。戦後、中断していましたが、1982（昭和57）年に復活しました。

交通手段

JR 南福岡駅⇒
西鉄バス45番
「南福岡駅」～「小倉」下車 徒歩5分
春日市コミュニティバス
①桜ヶ丘線「住吉神社前」下車

所在地

小倉3－37

小倉住吉神社

創立された年月は不明ですが、筑前国一宮（ちくぜんのくにいちのみや）の神領であったと記録にあります。10月17日の例祭では、神功皇后（じんぐうこうごう）伝説にちなむ「半煮え」の献立と「牛の舌餅」がお供えされます。

権力をきわめた首長たちの古墳をめぐる道

古墳とナギのふれあいゾーン

交通手段
西鉄電車井尻駅⇒西鉄バス
45･45−1番「井尻駅前」〜
「放送所前」下車 徒歩6分
春日市コミュニティバス
②須玖線
「須玖南親水公園前」
下車 東へ徒歩1分

所在地
弥生7−67

須恵器器台と子持壺

交通手段
西鉄電車井尻駅⇒西鉄バス
45･45−1番「井尻駅前」〜
「放送所前」下車徒歩6分
春日市コミュニティバス
②須玖線「竹の本団地前」
下車 東へ徒歩2分

所在地
弥生6−2

交通手段
春日市コミュニティバス
②須玖線「下白水北5丁目」
下車 南へ徒歩2分

所在地
下白水北5−98

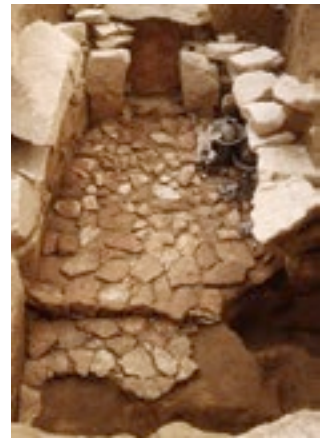
貴重な副葬品が出土

市指定史跡 赤井手古墳

あかいでこふん

赤井手遺跡の最高所につくられた6世紀初めに築造された円墳で、現在、市指定史跡として保存されています。1979（昭和54）年に発掘調査が行われ、器台や子持壺などの多数の貴重な須恵器や鉄器などが出土しました。

また、これ以前にも鏡など貴重な副葬品が発見されています。



▲赤井手古墳の石室

小型の前方後円墳

市指定史跡 竹ヶ本古墳

たけがもとこふん

1961（昭和36）年に発掘調査が行われた竹ヶ本遺跡では、弥生時代から古墳時代にかけての集落などが発見されましたが、現在残っているのは市指定史跡として保存されている竹ヶ本古墳のみです。丘陵の上につくられた全長が25m前後と小型の前方後円墳で、これについては発掘調査が実施されていないので、具体的な内容はわかっていません。

▲開発をまぬがれ保存された竹ヶ本古墳

段丘上につくられた首長墓

市指定史跡 下白水大塚古墳

しもしろうずおおつかこふん

近世以降に墳丘上と周辺が共同墓地として利用されていたため、古墳の原形はかなり損なわれていますが、1987（昭和62）年の範囲確認調査で、周溝と石室の一部が発見されました。河岸段丘上につくられたこの地域では大型の前方後円墳で、市指定史跡になっています。前方部は道路によって一部壊されていますが、後円部の周溝を含めた全長は55m前後と推定されます。築造された時期については6世紀後半〜7世紀初め頃と考えられています。

▲下白水大塚古墳

須玖
岡本
県道49号線
県道31号線
県道505号線
県道56号線
ナギの社
春日市奴国の丘歴史公園
春日市奴国の丘歴史資料館
岡本ノ辻遺跡
須玖岡本遺跡（平若B地点）
赤井手古墳
竹ケ本古墳
下白水大塚古墳
白水の井
日拝塚古墳
昇町
西中入口北
泉入口
下白水南
総合スポーツセンター

古代人の祈りが聞こえてきそう

国指定史跡 日拝塚古墳

ひはいづかこふん

古墳時代の6世紀前半の前方後円墳。墳丘の主軸がほぼ東西を向いています。彼岸の時期には16km 東方にある大根地山（おおねちやま）から昇る太陽を拝めるといわれていることから「日を拝む塚」として、日拝塚と呼ばれるようになりました。墳丘の一部が削られていますが、墳丘はすべて盛土で高さ4.5 ～ 5.5m、周溝を含めた全長は約60m あります。1929（昭和4）年に石室内から、鏡、装身具、武器、馬具、須恵器などの副葬品が多量に盗掘されましたが、大部分は回収され東京国立博物館に保管されています。この古墳は1976（昭和51）年2月に国指定史跡に指定されました。

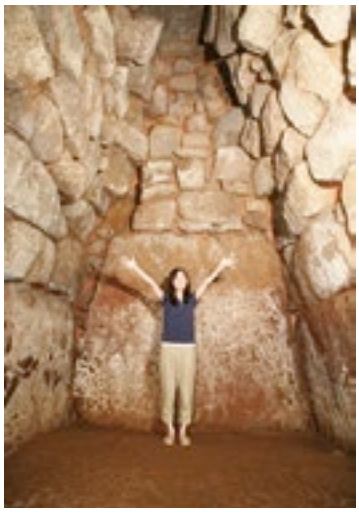
奴国の丘歴史資料館には、日拝塚古墳出土と伝えられる金製垂飾付耳飾（きんせいすいしょくつきみみかざり）が展示されています。

交通手段
ＪＲ博多南駅⇒徒歩10分
春日市コミュニティバス
③上白水線「中白水」下車
　北へ徒歩3分

所在地
下白水南6－208

駐車場
5台

▲日拝塚古墳の全景



▲ 日拝塚古墳の石室

▲日拝塚古墳出土と伝えられる金製垂飾付耳飾

「市の木」ナギが群生する

県指定天然記念物 ナギの杜

なぎのもり

マキ科に属し、別名「チカラシバ」ともいいます。ナギの葉は強く切れにくいため、縁起が良い（縁が切れない）とされています。

須玖の住吉神社境内には、約75本が群生しており、1963（昭和38）年１月に県の天然記念物に指定されました。また、1977（昭和52）年には「市の木」に選ばれました。

▲南木とも書く「市の木」ナギの木

▲ナギの葉

交通手段

西鉄電車井尻駅⇒西鉄バス
45番「井尻駅前」～「御稜」
下車 南へ徒歩4分
春日市コミュニティバス
①桜ヶ丘線（桜ヶ丘回り）
「須玖北公園前」
下車 南へ徒歩5分

所在地

須玖北3－42

「白水（しろうず）」の地名の由来となった

白水の井（走り井）

しろうずのい（はしりい）

「筑前国続風土記附録（ちくぜんのくにぞくふどきふろく）」という書物に白水の地名の由来が記されています。これによると、「白水の井」という清水が湧き出るところがあったことがわかります。その位置については諸説がありますが、現在の下白水北6丁目の一角とする説が有力のようです。この泉は現在埋められています。

また、この一帯は、戦国時代の城跡である「天浦城（あまのうらじょう）」の推定地でもあります。

▲現在の白水の井跡

交通手段

春日市コミュニティバス
②須玖線「下白水南4丁目」
下車 北へ徒歩3分

所在地

下白水北6－150付近

古代技術の発見と自然との出会い

水城と緑のふれあいゾーン

歴史的攻防を物語る
国指定特別史跡 水城跡

みずきあと

日本遺産

水城は7世紀に唐・新羅軍の侵攻に対する大宰府防衛線として築かれた防塁（土塁）で、国指定の特別史跡です。春日市には大土居水城跡と天神山水城跡がありますが、牛頸山系と四王寺山を結ぶ水城（大堤）と区別して、小水城と呼ばれています。水城の前面（博多湾側）には濠が設けられて水を貯めていたと推定されています。大土居水城跡の発掘調査では、土塁の背後から前面へ導水するための管（木樋）が発見されました。

なお、この国指定特別史跡水城跡は、令和2年6月、平成27年度に太宰府市が認定された日本遺産「古代日本の『西の都』～東アジアとの交流拠点～」について、太宰府市単独の地域型から、春日市・筑紫野市・大野城市・那珂川市・宇美町・佐賀県基山町を含む範囲への拡充が認定され、その構成文化財の一つとなっています。

▲天神山水城跡

※日本遺産について詳しくは、福岡県ウェブサイト（URL https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/nishino-miyako.html）をご覧ください。

▲大土居水城跡

▲大土居水城跡から発見された木樋

交通手段（天神山水城）
ＪＲ博多南駅⇒西鉄バス
2番「博多南駅」～「天神山」
下車 北へ徒歩5分
西鉄電車春日原駅⇒西鉄バス
2番「西鉄春日原」～「天神山」
下車 北へ徒歩5分
春日市コミュニティバス
③上白水線「天神山」
下車 北へ徒歩5分

所在地
天神山1－128ほか

白村江の戦い
朝鮮半島の覇権を争っていた百済の救援のため、日本は663年に白村江で唐・新羅軍と戦いました。この戦いに大敗した日本は唐・新羅軍の侵略をおそれて、急きょ各地に防衛体制を敷きました。対馬、壱岐、筑紫に烽をおき防人を配置し、筑紫に水城をつくりました。さらに大野城と基肄城の二つの山城をつくりました。

交通手段（大土居水城）
ＪＲ博多南駅⇒西鉄バス
2番「博多南駅」～「大土居」
下車 北へ徒歩3分
西鉄電車春日原駅⇒西鉄バス
1・2番「西鉄春日原」～「大土居」
下車 北へ徒歩3分
春日市コミュニティバス
④星見ヶ丘線・⑤平田台線
「大土居」下車 北へ徒歩2分

所在地
昇町7－53ほか

古代人の知恵が偲ばれる

県指定史跡 ウトグチ瓦窯跡（のぼり窯体験広場）

うとぐちかわらがまあと（のぼりがまたいけんひろば）

1987・1988（昭和62・63）年に発掘調査が行われ、7世紀後半の瓦窯が2基発掘されました。1号窯は全長14m で、中から多量の瓦が出土しました。展示館では、1号窯を発掘調査時の状態で保存・展示しています。ウトグチ瓦窯跡は2015（平成17）年10月に県指定史跡に指定されました。隣接する陶芸室では、やきもの作りが体験できます。

▲発掘調査時の1号窯跡

▲ウトグチ瓦窯展示館

▲保存展示中の１号窯跡

四季折々の自然が美しい総合公園

白水大池公園

しろうずおおいけこうえん

大きな川のない春日市では、先人たちが大きな溜池を造ってきました。中でも白水池は「筑前の三大池」の一つといわれています。

1664（寛文4）年、須玖村の庄屋・武末新兵衛が苦心の末、堤防を嵩上げすることにより現在の大きさになりました。今は白水大池公園として市民の憩いの場になっています。

▲展望台から見下ろす白水大池

交通手段
ＪＲ博多南駅⇒徒歩東へ15分
西鉄電車春日原駅⇒西鉄バス
2番「西鉄春日原」～「池の下」
下車 南へ徒歩5分
ＪＲ春日駅⇒西鉄バス
2番「ＪＲ春日駅」～「池の下」
下車 南へ徒歩5分
春日市コミュニティバス
③上白水線
「ウトグチ瓦窯展示館」
下車 南へ徒歩3分

所在地
白水ヶ丘1－4

見学のご案内
開館時間／ 9:00~16:30
・休館日／月曜・祝日
　第3火曜日
　12月28日～ 1月4日
・入館無料
・平日の見学は要予約
・駐車場1台（無料）

問い合わせ先
春日市奴国の丘歴史資料館
TEL 092－501－1144

市指定文化財
1号窯跡から出土した鬼瓦

交通手段
西鉄電車春日原駅⇒
西鉄バス1番
「西鉄春日原」～
「松ケ丘入口」下車
ＪＲ春日駅⇒西鉄バス1番
「ＪＲ春日駅」～
「松ヶ丘入口」下車
春日市コミュニティバス
④星見ヶ丘線
「白水大池公園噴水前」下車

所在地
下白水209

筑前の三大池
「一に白水、二に感田、三に粕屋の駕与丁(かよいちょう)」といわれていました。

諸岡川
大土居水城跡
天神山水城跡
大土居
上白水池ノ下
ウトグチ瓦窯跡
のぼり窯体験広場
西野球場
松ケ丘入口
県道505号線
県道580号線
塚原台
県道31号線
白水大池公園
白水大池公園西
白水大池公園東
松ケ丘
春日神社
春日の杜
センリョウ群林
春日公園
春日西小学校
春日西中学校
春日小学校
春日野小学校
春日南小学校
春日南中学校
天神山小学校
白水小学校
天神山公園
白水池公民館
白水ヶ丘1丁目
松ヶ丘2丁目
春日7丁目
春日8丁目
クリーン・エネ・パーク春日

古い歴史をもつ名社

春日神社と春日の杜

かすがじんじゃとかすがのもり

社記によると、天智天皇が斉明天皇の皇太子として長津宮（福岡）にあるとき、この地に天児屋根命の神籬をおかれたのが始まりといわれています。768（神護景雲2）年、大宰大弐・藤原田麻呂によって大和国春日より春日大明神を迎え神社を創立したと伝えられています。「春日」の地名の由来となった神社です。

境内の巨樟群春日の杜と神社林内のセンリョウ叢林は県指定天然記念物となっています。

▲大和の春日大明神をお迎えしたと伝わる春日神社

真冬の勇壮な祭り

国指定重要無形民俗文化財 春日の婿押し（若水祭）

かすがのむこおし（わかみずさい）

春日地区に伝わる小正月の年中行事で、春日神社で行われています。春日神社の氏子で組織された三期組合が中心となり、前年に結婚した新郎新婦を祝福します。

▲祭りのハイライト「樽せり」

見どころは、祭りの夜に行われる樽せりです。神社前の池の中で男達が樽を割り奪い合うもので、その姿は勇壮で全国的にも有名です。

1995（平成7）年12月に国指定重要無形民俗文化財となりました。

貴重な常緑広葉樹群

県指定天然記念物 センリョウ叢林

せんりょうそうりん

センリョウ科の常緑広葉樹で、朱紅色の実が茎の先に数個集まっています。市内ではほとんど見られなくなり、春日神社の森に群生地がありますが、乱獲の影響を受けたことにより数が減少し、より強い保護が必要になっています。

1964（昭和39）年5月に県の天然記念物に指定されました。

▲冬にはきれいな朱紅色の実をつけるセンリョウは高さ50－80cmぐらいになります。

交通手段

西鉄電車春日原駅⇒
西鉄バス6番
「西鉄春日原」～「春日」
JR春日駅⇒
西鉄バス6番
「JR春日駅」～「春日」
春日市コミュニティバス
⑥春日公園線「春日神社前」
下車

所在地

春日1－114

神籬（ヒモロギ）

もともと神の降りたつ樹木のことをいいます。神の降臨する場所に特別の木をたてて聖域とします。

春日の杜（クスノキ）

祭りの開催日

成人の日の前日の日曜日に行われています。

千両、万両

センリョウはヤブコウジ科のマンリョウ（万両）に対して千両という意味です。
「千両、万両」といって縁起を祝う植物として、正月用の飾りなどに使われます。ほかに、カラタチバナを百両、ヤブコウジを十両と呼びます。

指定文化財一覧

	区　分	文化財の名称	所　在　地
国指定	有形文化財	**重要文化財　銅鉾鎔笵（鋳型）**	熊野神社（春日市奴国の丘歴史資料館保管）
		重要文化財　中広銅戈（25本）	京都国立博物館
	史跡・名勝	**特別史跡　水城跡（天神山・大土居）**	天神山1丁目128番地外 昇町7丁目53番地外
		史跡　日拝塚古墳	下白水南6丁目208番地外
		史跡　須玖岡本遺跡	岡本6丁目12番地外
	無形民俗文化財	**重要無形民俗文化財　春日の婿押し**	春日神社（春日地区）
県指定	有形民俗文化財	**博多人形祖型**	個人所蔵
	天然記念物	**春日の杜（樟）**	春日神社境内
		住吉神社のナギの杜	須玖住吉神社境内
		春日神社のセンリョウ叢林	春日神社境内
	史跡・名勝	**史跡　ウトグチ瓦窯跡**	白水ヶ丘1丁目4番地
市指定	有形文化財	**王墓の上石（須玖岡本遺跡）**	春日市奴国の丘歴史公園
		銅鏡（須玖岡本遺跡D地点出土）	春日市奴国の丘歴史資料館
		銅矛（須玖岡本遺跡出土）	春日市奴国の丘歴史資料館
		銅剣（立石遺跡出土）	春日市奴国の丘歴史資料館
		金製垂飾付耳飾（伝 日拝塚古墳出土）	春日市奴国の丘歴史資料館
		漢式鏃（須玖坂本B遺跡出土）	春日市奴国の丘歴史資料館
		後漢鏡（松添遺跡出土）	春日市奴国の丘歴史資料館
		戦国式銅剣（立石遺跡出土）	春日市奴国の丘歴史資料館
		後漢鏡（天神ノ木遺跡出土）	春日市奴国の丘歴史資料館
		鉄矛（寺田池北遺跡出土）	春日市奴国の丘歴史資料館
		青銅器・ガラス製品生産関連遺物及び青銅器・土器類（須玖岡本遺跡坂本地区３～６次調査出土）	春日市奴国の丘歴史資料館
		青銅器生産関連遺物及び土器類（須玖タカウタ遺跡２・５次調査出土）	春日市奴国の丘歴史資料館
		銅剣・青銅製把頭飾・甕棺（須玖岡本遺跡岡本地区20次調査出土）	春日市奴国の丘歴史資料館
		豊臣秀吉奉行人連署禁制 附 中島利一郎添書	春日市奴国の丘歴史資料館
		仕渡ス書物之事　写（白水池水分取極書）	春日市奴国の丘歴史資料館
		瓦・須恵器（ウトグチ瓦窯跡出土）附 上白水天神ノ木採集瓦	春日市奴国の丘歴史資料館
	有形民俗文化財	**土製狛犬**	熊野神社（春日市奴国の丘歴史資料館保管）
	天然記念物	**オオバヤドリギ**	熊野神社境内
		えんじゅ	春日小学校校庭
	史跡・名勝	**赤井手古墳**	弥生7丁目67番地外
		竹ヶ本古墳	弥生6丁目2番地
		下白水大塚古墳	下白水北5丁目98番地
		原遺跡	白水ヶ丘6丁目147番地

参考文献

春日市史（春日市）
春日市市勢要覧（春日市）
春日市サイン計画（春日市）
ハンドブック春日市の文化財（春日市教育委員会）
春日市埋蔵文化財年報（春日市教育委員会）
春日風土記（春日市教育委員会）
むかしの生活誌（春日市郷土史研究会）
春日同名市町村共同研究誌かすが（春日井市教育委員会）
奴国の首都　須玖岡本遺跡（吉川弘文館）

春日市文化財マップ
さがしてみよう　あるいてみよう　文化財

初　版	平成10年12月1日	第８版	平成24年12月　1日
第２版	平成12年11月1日	第９版	平成26年　3月31日
第３版	平成16年3月31日	第10版	平成27年　3月31日
第４版	平成21年3月31日	第11版	平成28年　3月31日
第５版	平成21年11月1日	第12版	平成30年　3月31日
第６版	平成23年1月31日	第13版	令和３年　3月31日
第７版	平成23年10月21日	第14版	令和５年　3月31日

発行者　春日市奴国の丘歴史資料館
春日市　文化財課
〒816-0861　春日市岡本3丁目57番地
TEL092（501）1144
内容についてのお問い合わせは上記まで
お願いいたします。

印刷所　大道印刷 株式会社

[春日市市章]